

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和4年2月18日

配布数 9

回収数 9

事業所名 アートチャイルドケアSEDスクール朝霞台

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答	割合（％）				工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
						はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答		
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	5	4	0	0	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%	・複数のお子様が入ることで衝突などの危険や運動面が制限される為、部屋割りなどの配慮が必要です。	・同じ時間帯を使用されるお子様、ご兄弟なども含めて安全面を配慮するようにしているが、枠によって人数が多くなるコマがある為振り返り対応が難しく受付での遊びとすることが多くあった。安全面を考慮しての対応ではあるが、いつも決まったお子様たちが運動の部屋を使えなくなることは不公平にもなる。予約枠を設定する段階で、可能な範囲で調整をすることとする。
	2 職員の配置数は適切であるか	8	0	1	0	88.9%	0.0%	11.1%	0.0%	・時期により波があり安定していない。 ・日によって職員が少ない日がある為セッション外も含めたスクール内でのお客様の安全面が保障しきれないがあり、部屋割りや遊びの制限をする場面が多いです。それでもまだ見守りきれないと感じる部分がある。	
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3	5	1	0	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	・エレベーターがない。 ・ビデオで親御さんに見て頂く子供が気になって触ってしまう。 モニター画面も触って危ない。マジックミラーに変えてもらいたいと思うことがある。 ・引き戸が壊れやすいこと、子供が指を挟むこともあり危ない。 ・リズの部屋のドア開閉時に手をはさむことが多く職員が常に見ている必要がある。個室をビデオ撮影にすることでお客様がカメラに触り破壊やケガの恐れがある。 セッションにも集中しにくいので、他スクールのようなマジックミラーでの観察が出来れば安全かつ質を高めた療育につながると思います。 ・ごちゃごちゃしてわかりづらいと感じる。	・1校目ということで環境設定は十分でないところがある。可能な範囲で物的環境を整えること検討する。  ・療育室の棚の上に使用しない教材などが置いてあることがある。セッション終了時療育の中で片づけを促すことに加え、片付けられないものは振り返り終了後すぐに全員で整理整頓することを徹底する。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	2	0	0	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	・石鹸を棚の上に戻す等習慣化しないことはあるが清潔にしている。	
業務 改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	・PDまで行っているがCAはあまりできていない。	・担当者が今月のねらいを変更するタイミングで、支援方法について振り返りを投げかけるよう意識する。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・すぐに共有している。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%		
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	・オンラインでの研修で感染の不安もなく取り組めて助かっています。通常業務中での受講で数もあるので、時間の使い方には悩みます。 それでも勉強の機会があることは感謝致しています。 ・研修は多いが、レポートを作成する時間があまり取れない。	・職員の療育レベルを維持向上するために、今後も研修は実施しレポート提出の方法についても検討する。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	7	2	0	0	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	・JSI-Rを記入してもらっているがアセスメントは担当者の経験による視点であることは要対策。	・担当者、スクール長のみの視点となっているので、評価表のようなツールの使用を本社主任研究員に相談し改善を図る。
	11 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・園訪問や他機関とのモニタリングなど具体的にできる支援を提示しています。	
	12 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	13 活動プログラムの立案をチームで行っているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	・職員間で相談し合っている。 ・十分に行えず対応が人によって変わってしまい困っているお客様もいるように感じます。	・療育の手法は職員間で異なるが、お客様の療育の先に見据える姿を共有し合えるよう、カンファレンスで意見を出し合うことを重ねていく。
	14 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・保護者様のニーズを共有、更新している。	
	15 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%		
	16 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	・グループセッションは必ず行い、個別セッションは必要に応じて行っている。 ・カンファレンスの時間やセッションの合間でそれぞれの課題を出し合って確認するように心がけています。	
17 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	カンファレンスの他、気軽に話合える環境作りをしている。		
18 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%			

関係機関や保護者との連携	19	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	2	0	0	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	・非常勤職員の場合は勤務日に当たらないと参加しにくいことがあった。	・あくまでもセッション優先にはなるが、勤務日の変更などで支障が出ない限りは担当の職員が参加できるような環境を整えている。
	21	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%		
	22	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	3	0	0	66.7%	33.3%	0.0%	0.0%	・行ったことがない。 ・訪問しています。	・保護者からの要望があれば面訪問や電話での情報共有などを行っているが、訪問については指導員としての経験値やお子様を広い視野でとらえることも必要になるので、現状は一部の職員が行っている。どの指導員も訪問等が行えるような育成の機会（複数での訪問など）を作る。
	23	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3	5	1	0	33.3%	55.6%	11.1%	0.0%	・行ったことがない。 ・保護者様を通して引き続き書など記入しているが、小学校の見学などが出来れば具体的な支援方法が見えるのではと思う。	・地域の小学校や相談支援員さんなどの連携が取れるとよい。スクール長がどういった形でつながりが持てるか検討する。
	24	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	4	0	0	55.6%	44.4%	0.0%	0.0%		
	25	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか	3	4	2	0	33.3%	44.4%	22.2%	0.0%	・営業活動として行った。	
	26	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7	2	0	0	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%		
保護者への説明責任等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%		
	28	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%		
	29	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	・毎回保護者様と振り返りの場で話す機会に助言をするが、話足りないときは事業所内相談で話す。	
	30	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	31	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	・事業所内相談を実施した。	
	32	個人情報の取扱いに十分注意しているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	33	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%		
非常時等の対応	34	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	7	2	0	0	77.8%	22.2%	0.0%	0.0%		・9月と3月に避難訓練を行ってが、お子様・保護者様参加の形が取れないか検討する。
	35	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%		
	36	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	1	0	0	88.9%	11.1%	0.0%	0.0%	・成長確認シートは渡すタイミングで服薬やアレルギーの確認を定期的実施する。	
	37	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		
	38	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	9	0	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%		